

婦人と子ども



獨逸の教育實況

高 橋 章 臣

私は只今御紹介下さつた、高橋といふもので御座います。私が此の席に於てお話を致す事の機会を得ましたのは、實に大なる光榮と存じます、先に此の集會のある事に就て何かお話をするやうにとの御内命が中村氏から御座いましたから。其の事實は色々と考へて見ましたけれども、どうも有益なるお話をする事が六ヶ敷思ひましたから、お断を申上げやうと、思ひましたが、然し能く考へ直して見ると、先に私の恩師なる高嶺先生の御關係になつて居る會でもありませんし、又折角の仰せをお断りするの、如何か

と思ひまして、遂にお受を致した次第であります、然らば初、如何なる事をお話して宜しいか、實に之れにも苦しみました、皆さんも御承知の通り、私は丁度今年の六月に外國から歸つて参りました、然し、わちらに居りましたも、主として理科並に植物學の研究に従事致して居りましたから、如何せん幼稚園の事に關しては、何にも知らないと云ふて宜しいのであります、依て非常に題目に苦しみました。かゝる次第でありますから今、お話を致す事も、元より面白味のない事と存じますが、暫時お聞を願ひます。今獨逸に小供のうまれたる父母ありと假定してお話をしませう。其の育て振りに於てはどうであるかといふと、殆ど母親の乳は用ひませぬ。尤も田舎に参りますと、稀にはそういふ家庭もある様ではあります。が先づ多くは牛乳であります、而て其の牛乳は必ず暖めて用ゆるのであります、又其の子守の仕方、我が國のものとは大分違つて居りまして、多くは乳母が車に載せて引いて歩きます、然し時としては母が後からをして参る事も御座います、マア何れにもせよ、我が國の如く負ひ又は抱くやうな事はありません、又其の場所も家の近處に空地ある處は、さて置き、多くは公園に連れて参ります、其れでありますから公園には何時もかゝる車で一ぱい満されて居ります、殊に夏は最も多くあります、此に一つ感心する事は西洋の小供は餘り泣きませぬ、ヨシ泣いても、ごく低い聲で泣きます、ばかりでなく其の時間も大層短くあります、西洋では小供が泣きましても決して親切には致しませんで棄て、置きます、マア是等が習慣となつたものでありませうか。それから夜、寢る時間も大層早くありますして大抵日が暮れる

と一處に寐ます、其の時も我が國のやうに、何時迄も側について居る事はありません、而も其の部屋は眞つ暗であつて其處へ一人で寐るのであります、此の邊は實に我が國の小供と大層違ふ處であります、

此の小供がだん／＼歩く時分になりますと、大抵外で遊びます、尤も雨天又は寒い時分は別でありますが………それから、あちらには必らず小供の部屋といふものがあります、其の内には小供に適當した、玩具が備へ付けられてあります、或は竹馬の如く運動に適應するものもあります、又小さくして工夫を凝らしたのもあります、又は動物のやうなものもあります、かくの如く玩具の種類は極めて多くあります、然し之れを出して遊んだ後には必らず整頓させます、決して我が國のやうに、ずろうではありません、それから外で遊びます時には大抵フットボールを致して居ります、尤も田舎の小供になりますと近處にある原で遊びますが、マア大抵は公園に行くやうであります、或は風をあげて居る小供もありません、又、かけっこをして居る小供もありません、此の間に於ては一向男女の差がありません、此の間に幼稚園に行くやうになります。全体獨逸の學齡期は滿六才であります、此の時期になると父母即ち保護者はよく考へねばならぬ事になつて參ります、勿論これは我が國でも同じ事ではあります、我が國より一層であります、其れはなぜでせうか、順にお話を致しませう

凡そ獨逸の義務教育は八ヶ年であり、即ち我が國の高等小學教育を加へたものと同じであります、尤

も八ヶ年と云ひましても之れには多少の差があります、皆さんも御承知の通り獨逸は聯邦國であります、確か其の數は二十六だと覺えて居りましたが或は違ふかもしれませぬ。其の國々には各々主權者がありましてすべて其の國を統御して居ります、而してその聯邦國を代表する皇帝即ちプロシアの王が獨逸の皇帝となるのであります、之れは撰擧ではなくて世襲であります、皇帝は之れ丈の權利を有することが出来ます、それは、

一、外國に對して戰宣を布告し又は和議をむすぶ事、

二、外國に對して同盟を結び又はこれを解く事、

三、外國公使を新任し又はかくる事、

のみであります、其の他の事は聯邦國の王が致します、其の聯邦國には文部省或は之れに相當する役所がありまして、國中の學生を統割して居ります、従つて八ヶ年の内にも多少差のある筈であります、此の八ヶ年は所謂義務教育であつて、苟も獨逸國民は免れる事は出来ません。話が一寸よ道にはいりませんが兎に角八ヶ年は義務教育としてしなければならぬのでありますから、従つて普通教育の度が遙かに高くあります、例へば下女の如き智識の低いものでも、普通新聞の社説位は讀めますし、又卑猥でない小説ならば能く其の意味を解する事が出来ます、又算術の如きものに至つても、普通の事位なら出来ず、のみならず、獨逸國の成立とか又は法律等一通りは心得て居るといふ次第でありますから、之

れには私も非常に驚きました。讀書は上下通じて致します、否寧ろ一種の樂しみとして致すのであります、然し其の讀む本を一々買ふわけにも行きません、そこで獨逸には市に圖書館が建てられて居ります、随意に見る事が出来るやうになつて居ります。それ故に小學校を終つた後、更に特別なる高等の學校にはいらすとも自修する力は充分に出来て居ります、然しもし之れが四年位でありますならば必らずそこまでは出来て居らないだらうと思ひます、是れ偏に獨逸教育の盛なる所以でありますと思ひます。

小學校即ち國民學校は八ヶ年の義務教育にて終るもの又は八ヶ年の義務教育を終れる後に更に一年又は二年或は三年の補習科をして終るものとが入學する學校であります、然しモット學問をしたい即ち大學迄もやらせたいと思ふものは滿六才に達した時に既に定めなければなりません、といふは國民學校に入學した小供は中學校には、これならないと云ふ事があるからであります、凡そ中學校には種々ありまして大學に連絡あるものと、然らざるものとがあります、故に先づ滿六才に達すれば(一)父母の資産(二)小供の体力、(三)小供の賢愚等に就てよく考へ、いよくギムナシウムに入るゝとすれば國民學校は入れずとも、宜しい、又中學程度の學校にも入れなくともよろしいのである、然しギムナシウムは滿六才の何にも知らぬ小供を入れる事は出来ません、矢張、これには附屬せる小學校といふものが三年あるのである、今小學校の表をおめにかけますと(表略す、)

此の三年の間には読み書きを自由にする事勿論よむ事に於ては限りはないけれども先づ發音の出来る位迄、又書く方は獨逸文字とラテン文字とを書く事が出来るまで又算術は一より千までの加減乗除が出来なければなりません、是等が出来ると始めてギムナジュームの幼年級に入る事が出来ます、ギムナジュームの學力の程度は此の表にある通りであります、

此の表の他に体操は一週に三時間、唱歌も少しはあります、が是等は最も輕視されて居ります、此の表の中に於て最も力あるものはラテン語でありまして、之れは九年間通じてあります、殊にある聯邦國にありませんと一週に入時間乃至九時間ある處さへあります、次に希臘語次に佛語、で希臘語は六ヶ年佛語は七ヶ年間あります、でありますから所謂語學校といふてもよろしいのであります、是等に就ては種々議論もあるやうでありますが先づ今日の處では之れを可と認むるものは極めて少なくあります、私が大學に居ります時、非常に親しんで居た獨逸の學生で植物學を研究して居つた者があります、或時それがいふのには『實にギムナジュームは困つたものである、嘗て私が茲に於て勉強したものはラテン語であります、今此の大學で勉強する時に當り如何程効力あるかと云へば只僅である否希臘語に至つては少しも効力がない、而して他の物理、化學、動物、植物等所謂有形の學問に至つては殆ど僅かしか教へられて居らない將來大學にはいつてから是れ等の學問を研究する人はさて置き法律とか哲學とか所謂他の學問を學ぶ人はとても是等のものを學んで居る暇がない従つて智識の缺けた人とならねばなりません』

ん、此の事は今日に於ても教育上の集會とか又は雜誌等に於て頻りと攻撃して居りますか中々改正され
 そうにもありません、如何となれば此のギムナジュームの校長は老人であつて而も極めて勢力ある人で
 ある、常に此の人々が云つて居るには、此の文明を起したものは何か又此の文明が何處から起つて來て
 居るかと云ふと、どうしても希臘語やラテン語の行はれて居る國から起つて居るに違ひない、であるか
 ら之等の文學を知らなければ、其の文明のありかはとも知る事は出來ない故に最高の教育をうける人
 は是非ともその本にさかのぼりて研究しなければならぬ。又人物を作るにも逆ほらなければならぬ
 又或人の云ふには獨逸語でしらべたらよさそうなものではないか、之れに答へて云ふには同じ語を
 わらはずにもせよ語が違つて居つてはそれを充分に解する事が出來ない、なせなれば語以上にその意味
 を感ずる事が出來ないからである故に今日歐羅巴の文明を知り又は立派な人を作ろうと思ふには此のラ
 テン語に依て始めて得らるゝものであると、こう云つて居ります

此のラテン語の教授法といふものは極めて慘酷であつて皆暗記であります殊に甚だしいのは手を以て打
 つ事さへあります、然るに生徒はこんな苦しみをして習ふ處を見ると實に驚く程であります。故に勢
 力ある老人の死んだ後でなくては。これを改正するといふこと六ヶ敷いことです。生徒は必死に勉強し
 て非常に恐れる、其困難を恐んで習ひます、

而して此ギムナジュームを終れば、無試験にて大學へ入學する、其大學は獨逸にて二十あり、其他に大

學と同資格をもてるもの一校あり、其學生の數は三万六千人、獨逸人口は五千六百万あり
 此ギムナジュームを卒業して入學する大學の各れに入るかといふこと問題なり、此二十一の大學は互に
 連絡があつて他に轉校するも自由なり。ギムナジュームも連絡している、大學へ入れようかといふこと
 になりて、日本の大學と違ふから困難です、彼の大學の内に同じ様なことが多くあるわけである、又特
 別のところある、例 甲校は醫學進みて、乙校は法律がいゝとかいふ、特徴ある故に、希望によりて入
 學する、大學に入學すれば親は少しも心配はいらず、又大學にても少しも干渉せず、放任主義なり、之を
 事實に依つて調べると、第一寄宿舎はなく、勉強の仕方は其一を話すれば大學の誰教授のを聞ふ、そ
 れは例へば民法を聞く講座が二つも三つもある、それで其生徒が何れの講座の講義を聞くことが出来る
 から二週間又は三週間は誰れの教授のも聞くことを許してある、其時は月謝は不要なり、互に批評する
 然してきめるには教授は非常に勉強する故に骨が折れる、教師をきめたらば、そこで學校から小さな帳
 面が渡る、それに教授の名と教科とを書き入れて、事務へ持てゆく、そうすると事務員は之れを其教授
 のところへもつてゆくと、教授は之れに日をかき入れて、捺印してくれる。大學は卒業の時季定めてない
 し、中にはドクトルになりたい人なれば、ドクトルの試験を受くこれをうくるまでには少くも三年講義
 を聞かねばならぬ、と云ふことがあるからである、又學生の内には組合といふものがあつて、之れは他
 の大學にはないことである、二十人若くは三十人位組合となり、之れには殆んど生命を賭けても約束は

異ちがはないといふ、最も堅もつとい組合くみあいである、此組合このくみあいは遊あそぶことの最も都合もつとつさうのよい組合くみあいである、こゝでは又劍またけん術じゆつを習ならふ。而しかして決闘けつたうをなす之こが此組合このくみあいの大なる仕事したとであるから、講義かうぎを聞きく人を拒ひとむ、

然しかし二年三年になるとダン／＼勉強べんきやうするやうになる、それから本ほんを見みだす様ようになつて、まゝ大抵五年目たいていねんめ位ぐらいにドクトルの試験しけんを受うくるのである、試験しけんは時ときもさまらず、其試験そのしけんには筆記しつぎと口答論文提出等こうたつろんぶんていしつちやうあつて講堂かうどうで授與式じゆゑしきがある、それが又面白またおもしろい、此式このしきがある一と月つきばかり前から、學生がくせい又は學校外がくかうがいにその事ことを廣ひろ告くする、それは（誰々たれくが演説えんせつをするから、之これを云いひ負まかせ）一寸聞ちよつといたところでは大たいへん恐おそろしい様ようであるが、中々なか／＼さうでない、それは卒業論文そつげえんろん中の大事だいじな一説せつを暗記あんきする、それを他たの人ひと（友人ゆうじんのうちでドクトルの稱號かうごうある人又は將まささに持もたんとする人）にたのんで私わたしは今度こんどかよりの演説えんせつをするから、其中そのちでこれ／＼の處ところを質問しつもんしてくれ、すれば私わたしはこゝ答こたへるからといふ様ように前から約束やくそくをして置くのであるから、何でもないのである之これがすむと誓ちかをする。

次に大學總長だいがうさうちやう來きて卒業證書紙筒そつげつしやくしやくとうを授與じゆゑす、貰もらつて歸かへれば友人知人ゆうじんちじんに通知つうちする等らう、それは／＼非常ひじやうな喜よろこびで二三日ふたにちは徹夜てつやしてゑん會くわいする、その喜よろこんでとれたドクトルは如何いかなる價値かちやくありや、否いなや、何なにも資格しかくなし、只人権ただじんけんを得うるばかりである、人間にんげんとして完全かんぜんに近ちかきものとなつたのである、世人せいじんが學士がくしさんと云いつて名前なまへを呼よばなくなる、然しかしドクトルが書店shotenの番頭ばんとうなどをもしてゐる、けれど學士がくしのねうちには下くだらない。かよりに世よの中なかの職業しよくげうの爲ために何なんの資格しかくもないのである、此次このつぎにもう一つ受うけなければならぬそれ

は國の試験である、國家の試験員が試験をする、例へば教員にならんとするものは其試験をうけなければならぬ、大抵其準備に豫め二年位かゝる、これに卒業して初めて資格ある人となるけれども、職業をもつことの出来ない人は、遊んでゐることになる、其時は又大學校に入るのである、そうして他のドクトルをとる故に、中には二つも三つもドクトルを有てる人あり、又研究をしてゐるものもある、研究所にありて何か眞理を極めん爲に學ぶ人あり、元來大發明大事業者は暇人で而かも學力ある人から出来る、餘裕ありて初めて人物が出るのであります。故に大學の教授も中々迂濶には居られない、此等の生徒に負けぬ様に、一生懸命になつてゐる、獨逸の教授は教ふるよりも己れの研究を第一とす。

ギムナジウムの中に、實科ギムナジウムといふあり、これは大學との連絡を有せず、年限同一高等小學校より九ヶ年通してすること、此れはギリシヤ語ラテン語のないところである。其代りに英語がはいつている、又理科を澤山するこれを卒業したものは實業に適する様になつて居る、此上に又一つ學校あり、吾邦語にて工科大學あちらでは高等工業學校、それが近來多くなつて其方が進歩した、之れが今日獨逸の工業の盛なる源をしたのです、故に若し此實科ギムナジウムに入らんとするものは、始めより此れに連絡ある學校に入學しなければならぬ、以上男子教育の一斑です、

女子教育について申しませう
女子のためには高等女學校あり、之れは我國のものと、殆んど同じ、只年限に差あるのみ、この表の通

り一年より九年、滿六年より九ヶ年、高等小學校に一年増したもものなり、此女學校に於ては佛語に最も重きを置く交際場裡に於て佛語を話せぬ人は令夫人の資格ないと迄云ひ居れば佛語を知らざるは恥として研究しますから盛です、

私曾て女學校の卒業式を參觀しましたが其時芝居をしましたそれは皆佛語であるのです又卒業生ばかりでなく下級のものも余興として佛國會話佛文をよみなどす、それ故プロイセンでは其出來の如何によつて其學校の價値が定まる、之れに依て高等女學校の大方針をうかゞふことが出來ます、其他學校は種々ありまして、裁縫實科料理學校等其他を申せば澤山ありますが、先づ獨逸の教育の一般は、これ位であります、之れで御免を蒙りませう。

(これは先月本會にて演說せられたの、筆記であります。時日がなかつたために演說者の校閲を乞はなかつたものですから文の責は編者にあります)